三富協同村構想

＜協同村のコンセプト＞

【旧協同村を引き継ぐ考え方】：時間と空間を自由に表現する場、教育研修の場、子育ち支援の実践の場

【メインテーマ】：「農」

協同村では多様な形で「農」に関わる多くの人々が登場します。

それぞれに合った「農」とのつきあい方と平行し「生産そのものに参加する消費者」を実現するために農業者と地域市民と共に地域の団体と連携を深めます。協同村が単なるイベントではなく「私たちの食糧生産のための農業」を展望するモデルづくりを目指します。

【協同村の新たな考え方】：遊び仕事（都市近郊農業の多面的価値農、持続可能な環境と社会、生きる力）

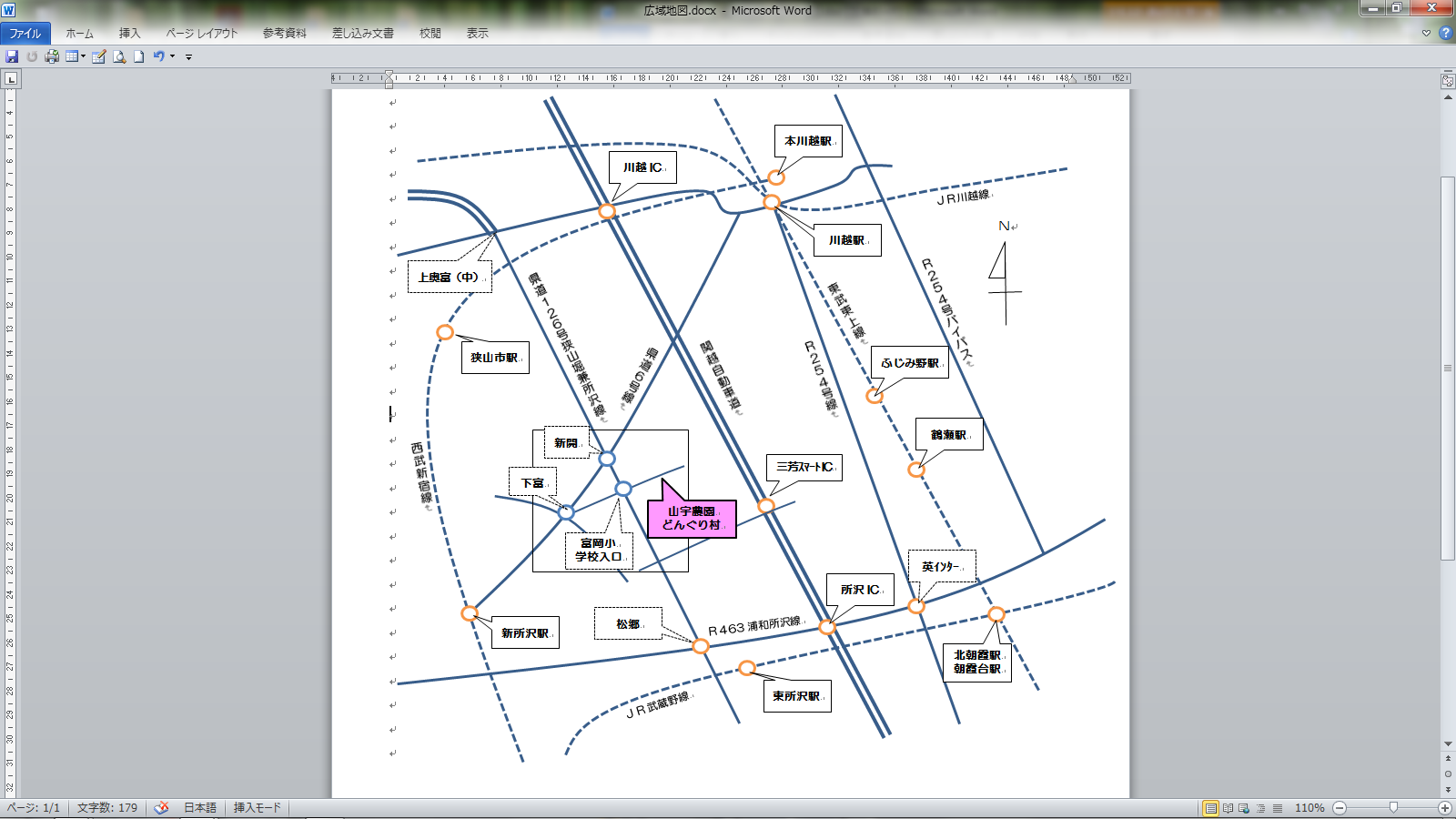
農家の仕事と、都市住民の暮らしや遊びとの接点もなくなってしまいました。「仕事」は、経済性（儲かること）が優先され、「遊び」は、商品として購入する時間消費型都市生活の中で自然との距離も遠のいています。生業と遊びを極端に分けるのではなく、接点となる部分を作り出すのが「遊び仕事」です。

農業はもっと精神的・社会的な営みを取り戻し、都市住民は、生業としての農業を理解するために、それぞれが幅を広げて、分断された領域の接点を見つけ「遊び仕事」を作り出していきます。

＜協同村運営委員会＞

新協同村構想に基づき、企画立案とその実行を行います。

活動例：多世代が楽しみを見つけられる場・食農文化、生活技術、知識知恵を得られる場・癒される場づくり。また三富平地林の落ち葉はきなどの保全活動や、親子・家族連れ、障がいの有無にかかわらず誰もが活躍できる場を作ります。地域連携（農福連携）の可能性も追求していきます。



さんとめどんぐり村までのアクセス

車の場合

カーナビを「所沢植木鉢センター」（所沢市下富1360-4）を目標に設定してお越し下さい。

・関越自動車道

所沢IC及び川越ICより約30分

電車の場合

1. 西武新宿線「新所沢」駅東口より「本川越駅」行のバスに乗車
2. JR川越線/東武東上線「川越」駅より「新所沢駅東口」行のバスに乗車

①②ともに「シチズン前」停留所で下車、徒歩15分。

※バス停からの行き方は別途資料を郵送します。

■　さんとめどんぐりヤマ（雑木林）の利用申し込みについて

＜どんぐりヤマの貸し出し目的＞

日本農業遺産に認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を実践する貴重な三富平地林の価値を次世代に残すため、生活クラブでは誰もが親しみを持ち、憩える空間で活動利用できる場所として、下記の内容に沿って組合員利用を進めます。

＜利用概要＞

（予約）　　　　希望利用日の１ヶ月前までに、別紙申込書（書式集参照）に必要事項をご記入の上、生活クラブ本部活動推進部事務局宛にお申込み下さい。

（資料郵送）　　申込を本部事務局で受付けた後に、受領確認として資料と詳細地図などの案内を郵送します。

（事前現地確認）季節ごとに環境の違いがありますので事前に現地確認を行って下さい。

（当日）　　　　利用当日は使用ルールに従って、近隣に迷惑にならないようにご利用下さい。

（利用後の報告）利用後、2週間以内に報告書のご提出をお願いいたします。

＜利用条件・周辺環境情報＞

・利用対象はブロック、支部、連とします。個人的利用や外部団体の利用はできません。

・水場はありません。

・トイレは野外の簡易トイレで、水洗トイレではありません。

・火事の危険があるため、火器の使用は禁止です。

・駐車場所は指定した場所に停めて下さい。郵送する地図でご確認ください。

・生活クラブ職員が畑などにいる場合がありますが、基本的に常駐の管理人はいません。

＜注意事項＞

・林には蜂が生息しています。5月～10月は蜂の活動期間ですので、この期間は利用を控えるか、利用するとしても刺激を与えないように十分注意して行動しましょう。

・風が強い日には枝が折れて落ちてくる危険がありますので、十分注意してください。

・万が一のことを考え、イベント保険を掛けておきましょう。

＜どんぐりヤマ（平地林）住所＞　　　　　狭山市上赤坂1170/1171　（郵送資料参照）

＜どんぐり村（山宇農園）住所＞　　　　　所沢市下富330　　（畑を借りている近隣農家）

＜申込み・問合せ受付先＞

・生活クラブ埼玉本部　活動推進部　TEL：048-424-2763　FAX：048-424-2796